

白馬村第5次総合計画 - 前期計画評価シート

【検証資料1】

| 基本目標 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 主管課 | 指標 | H26 2014 基準 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 目標 | R2内部評価コメント | 外部評価基準 | (参考) R1 外部評価 | (参考) R1外部評価コメント |
|-------------------|----------------------------|--------------|-----------------|---------------|------------------------------|------------------------|-------------|-------------|------------|-------------------------|--|--|---|--|
| 暮らし_安心してみんなが暮らせる村 | 多様性を尊重し、住民が主体的に共生・協働する村づくり | 住民参画と協働 | 行政区の主体的な取り組みの支援 | 総務課 | 行政区加入率 | 52% | 71% | 70% | 70% | 80% | 加入率は微減と推計しています。要因としては外国人世帯の増加が考えられます。今後は調査の基礎となる分母数の精査を行います。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.6 | ・支援員の効果は高いと思われるので、可能な限り増やす工夫が必要と考える。 ・行政区加入者率を上げるため各区役員の協力体制に期待する。 ・集落支援員の増員が必要である。 ・外国人世帯、季節のみの住人などあり、加入率の比較だけでは地区行政の主体的、継続的な取り組みを判断するところは難しいところがある ・地域づくり事業補助会の主管の果の枠を超えた幅広い柔軟な活動を促していけるとよいと考える。 ・精査をしっかりと行ってほしい。 ・支援員数を増員することが成果ではない。 |
| | | | | | 地域づくり事業補助金活用地区 | 30 | 28 | 28 | 30 | 30 | 引き続きすべての地区に活用していただけるよう、周知、事業支援をします。 | | | |
| | | | 行政区の継続的な活動の支援 | 総務課・農政課・健康福祉課 | 集落支援員数 | 0 | 2 | 3 | 4 | 2 | 【農政課】令和元年度も支援員の長年の経験により小規模集落への支援や問題解決に尽力いただきました。 【総務課】小規模集落支援が中心ですが、非常に助かっている旨の意見をいただきました。令和元年度は外国人対応の支援員を増員しました。 | | | |
| | | 住民活動・NPO等の支援 | 総務課 | | - | (後援) | (後援) | (後援) | - | - | イベント開催等、方向性が合致するものについては後援しました。協働のまちづくり推進交付金については、申請1件、交付決定は0件となっています。引き続き事業推進のため、周知を行っていきます。 | | | |
| | | 開かれた行政運営 | 行政情報の発信 | 総務課 | 白馬村行政HP PV数 (行政トップページPV数) | 60,000 → 288,358 | 170,111 | 184,743 | 144,944 | 70,000 0→ 200,000 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.7 | ・引き続きわかりやすい情報発信に努めてほしいと考える。 ・行政と区との交流にはユーテレ白馬の活用が必要である。 ・ユーテレ白馬加入数が少ないのではないかと ・若者から、高齢者までスマホ・PCを使う時代、多くの情報の中から目とめていただけるよう、今後もよろしくお願ひしたい。 | |
| | | | | | 行政FB いいね！数 | - | 1,086 | 1,360 | 1,603 | 1,000 | 効果的な広報手段として、引き続き情報発信に努めます。 | | | |
| | | | | | ユーテレ白馬加入件数 | 1,906 | 2,025 | 2,047 | 2,088 | 2,100 | 加入件数は増加傾向です。指定管理者と協力し番組の魅力向上に努めます。 | | | |
| | | | 意見交換の場づくり | 総務課 | | - | (30地区) | (27地区) | (28地区) | - | 平成30年度に引き続き開催方法（日時、場所）について、各区の要望を反映しました。今後は開催方法について検討します。 | | | |
| | | 多様な人々の交流・共生 | 移住・定住の促進 | 総務課 | 人口 | 9,050 | 9,028 | 8,947 | 8,795 | 9,000 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.5 | ・外国人が中心とはいえ、社会増数が増えているのはいい傾向だと感じる。今後は日本人も含め増やせるような努力に期待する。 ・白馬村の良さをアピールし移住政策を強化する。 ・外国人転入におけるプラスとマイナス両面があると思う、本当の意味で白馬になじみ人に関わってよい関係を築いていけたらと望む。 ・積極的な定住移住の政策を望む。何か制度を設けるべき。 ・国外より国内の増加を増やすべき。 ・地域おこし協力隊の活動内容がわかりにくい | |
| | | | | | 人口の社会増数 | 111 | 170 | 312 | 185 | 111 | 「官民協力し、村の魅力向上に努め人口維持、増を図ります。平成30年度より移住交流のための地域おこし協力隊を採用し移住施策に取組みました。」 | | | |
| | | | | | 地域おこし協力隊員数 | 0 | 7 | 10 | 8 | 10 | 令和元年度中に2名の任期途中の退職がありました。引き続き定住につながる工夫、協力隊の活動の周知等行います。 | | | |
| | | | | | 移住イベント出展回数 | 0 | 2 | 2 | 4 | 2 | 引き続き広域連携を含め、白馬村単独だけでなく、圏域への魅力を創出していきます。 | | | |

| 基本目標 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 主管課 | 指標 | H26 2014 基準 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 目標 | R2内部評価コメント | 外部評価基準 | (参考) R1 外部評価 | (参考) R1外部評価コメント |
|----------------------|------------|-----------|-------------|---------------|--------------|-------------------|-------------|-----------------------|--------------|---|--|---|--------------------|---|
| 安心・安全の生活を 支える村づくり | | | 多文化共生 | 総務課 | 意見交換会開催回数 | 1 | 1 | 1 | 2 | 2 | 通称マナー条例の検証、外国人向けの防災訓練を実施しました。 | | | カラダ。・就労の検討。労働力人口の移住がメインか、リタイア世代の移住がメインか。内容や参加状況の解りやす伝えることが必要である。 |
| | | | 村外の白馬ファンの活用 | 総務課 | ふるさと白馬応援し隊員数 | 50 | 70 | 73 | 75 | 70 | 目標値は達成しました。会員数は増加傾向ですが、メルマガ、其他媒体、イベント等を通じ隊員、白馬ファン増を図ります。 | | | |
| | | | | | 隊員主催イベント回数 | 0 | 1 | 2 | 1 | 1 | 移住ツアーで森林整備体験事業を開催しました。次年度はさらに多くの人に参加意欲が沸き、移住につながるイベントの開催を検討します。 | | | |
| | 防災・減災の強化 | 地域支え合い支援 | 健康福祉課・総務課 | 支え合いマップ作成地区 | 17 | 19 | 21 | 24 | 30 | 平成22年度から毎年マップ作り講習会を開催してきており、昨年度は3地区が新たに作成し、策定済みとなった地区は24地区となりました。マップは災害時だけでなく、日常の地域での支え合い活動に活用できるため、引き続き講習会を開催していきます。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.2 ・防災訓練等の参加者がかなり減少傾向にあることから、村民に対する防災意識を高める施策が必要なのはと考える。 ・村民が常に防災等に関心を持ちマップの活用に期待する。 ・村全体の防災の取り組みに対する村民の関心があまり向けられていないと感じる。お忙しいとは思いますが地区あるいは数か所地区という小さいまとまりの防災訓練などの取り組みなど工夫があるとよいかと思う。 | | |
| | | | | 防災・災害情報の伝達 | 総務課 | 防災アプリ構築 | 0 | 方針決定 | 構築 | 仕様確定及び公告 | | | 1 | 事業者が決定し、アプリの制作が始まりました。令和2年度中に公開をし、多くの方に利用されるように、周知に努めます。 |
| | | | | 消防団活動 | 総務課 | 消防団協力事業所数 | 6 | 6 | 4 | 4 | | | 10 | 村内の事業所に、広報紙等を活用し告知します。また、該当する事業所へ直接案内するなどアプローチを仕掛けます。 |
| | | | | | | 消防団員応援ショップ登録店舗数 | - | 7 | 10 | 10 | | | 20 | 引き続き周知徹底し、協力店舗を増やしていきます。 |
| | | | | 自主防災組織 | 総務課 | 自主防災組織設立地区数 | 26 | 26 | 26 | 26 | | | 30 | 未設置の地区に区長会議等で周知します。また、該当する区へ直接案内するなどアプローチを仕掛けます。 |
| | | | | 村全体の防災への取り組み | 総務課 | 地震総合防災訓練等参加者数 | 120 | 98 | 75 | 296 | | | 240 | 神城断層地震の経験を風化させないよう、自主防災組織や各種組織と連携を図り、訓練内容の充実に努めます。 |
| | | | | 治山治水（国庫、県単関係） | 建設課・農政課 | | - | 砂防13件 治山8件 | 砂防7件 治山8件 | 砂防6件 地すべり2件 雪崩防止1件 治山2件 | | | - | 【建設課】新規の砂防施設、既設施設の修繕、砂防施設の有効利用等 砂防施設の充実に係る要望を長野県姫川砂防事務所へ毎年実施しています。 【農政課】蕨平地区（ホテル東2箇所）の公共治山工事の一箇所が完了しました。残りは令和2年完了予定です。 |
| | 日常の住みよさの確保 | もてなしの村づくり | 総務課 | | - | (アンケート) | (意見交換) | 意見交換 パトロール 自粛要請 | - | マナー条例検証と地域、飲食店、大規模イベントのパトロールを行いました。抜本的な解決には至りませんが、深夜に迷惑行為のある特定の店舗に対し、深夜営業自粛要請し、時間短縮が実施されました。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.4 ・刑法犯罪が増加していることは問題である。外国人の増加との関連等も含め、その原因を探り、何らかの対策を取ってほしい。 ・特にないが白馬村の道路の改善が必要であると考えている。 ・外国人だけでなく日本人のマナーでも気になることも多いので、村のマナー条例の周知を望む。公共交通網の整備と充実が村民・観光客両面からの希望要望が強いと思われる。 | | |
| | | | | 地域防犯力の向上 | 総務課 | 刑法犯罪認知件数 | 79 | 94 | 115 | 46 | | | 50 | 大北防犯協会連合会、大町警察署、白馬交番等関係機関と連携し、防犯対策を行い地域や家庭における防犯思想の普及を図ります。また、近年増加している特殊詐欺に対する防犯意識の向上を求めます。 |

| 基本目標 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 主管課 | 指標 | H26 2014 基準 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 目標 | R2内部評価コメント | 外部評価基準 | (参考) R1 外部評価 | (参考) R1外部評価コメント |
|----------------|-------|--------------|-----------------------|---------------------------|-----------------|-------------------|-------------|--|------------|---|--|---|--|--|
| | | | 交通安全の推進 | 総務課 | 交通事故発生件数 | 34 | 42 | 31 | 46 | 25 | 白馬村交通安全協会、大町警察署、白馬交番等関係機関と連携し、地域や学校の要望を取り入れた交通安全対策を行い、交通安全思想の普及を図ります。また、近年増加している外国人に対しても、警察等の関係団体と協力して、日本の交通ルールの理解を求めます。 | | | る。村内公共交通を通し子ども、高齢者、移住者（外国人を含む）観光客の交流や見守りにもつながれば村も元気になれると思う。 ・条例の厳しさが増すと営業が委縮してしまわないかが心配である。 |
| | | | 村内の移動手段の確保 | 総務課・健康福祉課・観光課・教育課 | | - | (公共交通会議) | (公共交通会議) | (公共交通会議) | - | 地域公共交通網形成計画の具体的施策について検討を行いました。 | | | |
| | | | 生活と観光と医療のための道路整備 | 建設課 | インフラ長寿命化点検済施設数 | 12 | 72 | 橋梁設計1箇所 橋梁修繕工事2箇所 ボックスカルバート修繕1箇所 | | 113→107 | 令和元年度は18橋（2巡目）の橋梁点検、10橋の修繕設計を行いました。令和2年度は23橋の点検、3橋の修繕工事を予定しています。 | | | |
| | | | 安全な住宅の提供 | 建設課・総務課 | 村営住宅戸数 | 16 | 30 | 30 | 30 | 34→30 | 令和元年度は、老朽化により入居見込みのない2棟を解体撤去しました。現在入居中の30戸については、引き続き入居者と連携しながら施設の適正な維持管理を行っています。 | | | |
| | | | | | 長寿命化が必要な村営住宅戸数 | 16 | 12 | 6 | 0 | 0 | 0 | 該当であった白馬団地は取壊しとなるため、すべての村営住宅で長寿命化が完了しました。 | | |
| | | | まちづくりマスタープランによる土地利用計画 | 建設課 | | - | (打合) | (申請) | - | - | 現在策定中の立地適正化計画の策定作業と整合を図りながら、令和3年度以降にマスタープランの見直しに着手する計画です。 | | | |
| | | | 地籍調査の推進 | 農政課 | 地籍調査済面積 (ha) | 765 | 20 | 10 | 6 | 848 | 八方地区の北城21・22・23区は立会が困難な区域であり、一部の立会や整理、閲覧以降の業務が残っています。新規区域に入っていき状況ではなく、事務処理に専念する必要があり令和2年度は整理の年とします。下方修正(848→836) | | | |
| 支え合う福祉と健康の村づくり | 子育て支援 | 安全な妊娠・出産への支援 | 健康福祉課→子育て支援課 | 合計特殊出生率 | 1.19 | 1.07 | 1.22 | 1.01 | 1.30 | 合計特殊出生率は年毎に微増減があります。子育て支援施策の充実により、現在、子育て中の方が、弟妹を望めるような環境を整備し、出生率の向上を図ります。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 4.1 | ・子育て世代に対する施策はおおむねうまくいっている。今後とも、子育てしやすい環境の整備に努めてほしい。 ・安心して2, 3人目が出産できるよう支援対策の強化が必要である。 ・村民の希望状況に応じてよい活動が行われていると感じる。人と人がかかわれる部分が重要な分野であるので、保育士、相談員などの人数の面での充実が大切である。 ・引き続き頑張ってください。 | |
| | | | | 妊婦基本健診受診率 | 97.1% | 100% | 100% | 100% | 100% | 里帰り出産時の健診を補助し、全員の利用が図られています。 | | | | |
| | | | | 不妊治療費助成件数 | 4 | 8 | 5 | 2 | 4 | 毎年申請があります。不妊・不育症治療は、心身、経済面ともに負担が大きいいため、今後も相談体制の充実を図ります。 | | | | |
| | | | | 安心して産み育てることができる医療体制の維持・充実 | 健康福祉課 子育て支援課 | 平日夜間救急医療事業箇所数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | | | 大北医師会の協力を得て、週6日稼働しています。利用者のいない日もありますが、地域の方々にも有効に活用してもらえよう引き続き周知に努めていきます。 |

白馬村第5次総合計画 - 前期計画評価シート

【検証資料1】

| 基本目標 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 主管課 | 指標 | H26 2014 基準 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 目標 | R2内部評価コメント | 外部評価基準 | (参考) R1 外部評価 | (参考) R1外部評価コメント |
|------|-----|-----|-----|-----|--------------|-------------------|-------------|-------------|------------|------------------|--|--------|--------------------|-----------------|
| | | | | | 大北圏域産科医数 | 1 | 1 | 1 | 1 | 1 | 市立大町総合病院の産科が継続できる よう広域的に働きかけを継続します。 | | | |
| | | | | | "なかよし広場"利用者数 | 1,764 | 1,656 | 1,583 | 1004 | 1,850 | 出生数の減少や未満児保育の拡大により利 用者が減少しています。今年度から保護者の ニーズがあり、決まれた日でなくいつでも自由 に遊びに来れるように自由利用を拡大しまし た。引き続き、同年齢の子育て中の親子が気 軽に集ったり子育ての不安や悩みを相談でき る場を提供する目的から魅力ある事業の実 施を努めます。 | | | |

| 基本目標 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 主管課 | 指標 | H26 2014 基準 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 目標 | R2内部評価コメント | 外部評価基準 | (参考) R1 外部評価 | (参考) R1外部評価コメント |
|------|-----|--------------|-------------------|--------------|-------------------|-------------------|-------------|-------------|------------|------------------|--|--|--------------------|--|
| | | | 子育てに関する交流や相談の場づくり | 子育て支援課 | "自由利用"利用者数 | 1,119 | 633 | 573 | 1150 | 1,200 | 利用可能日を拡大、昼食を室内外問わず利用できるように、少しずつ利用者が利用しやすいように変えていきました。今年度はいつでも誰でも利用できるように毎日自由利用にしました。またどの年齢も安全に遊べるように環境を整えています。 | | | |
| | | | | | 子育て支援センター相談件数 | 44 | 46 | 256 | 635 | 60 | 子育て世代包括支援センター開設に伴い、妊娠期から18歳までの各種相談対応を一本化しました。さらに、母子保健事業を加え全ての子育て施策が一元化された結果、相談件数も増加しております。 | | | |
| | | 子育て家庭への経済的支援 | | 健康福祉課→子育て支援課 | 小児インフルエンザワクチン助成 | - | 591 | 687 | 813 | 985 | 助成への認知度が高まり、接種者数が年々増加し、地域全体のインフルエンザ感染の拡大防止に効果が得られています。 | | | |
| | | | | 子育て支援課 | 子育て家庭優待パスポート協賛店舗数 | 20 | 26 | 30 | 30 | 24 | 村内協賛店舗数の目標値は達成していますが、「地域のみならず子どもと子育てを応援しよう」という意識を醸成するため、広報等による積極的な周知活動により、協賛店舗の更なる拡大に努めます。 | | | |
| | | 子育てと仕事の両立支援 | | 子育て支援課 | 休日保育利用者数 | 213 | 234 | 343 | 475 | 250 | 出生数は数年前に比べると減少していますが、観光産業が主産業である本村では、休日保育の需要は増加しています。それに対応するため、通常勤務をしている保育士が交代で休日保育の業務にあたる状況です。増加傾向にある休日保育の需要に応えるには、保育士の確保が重要となるため、それらも含めて保育事業の充実に努めて参ります。 | | | |
| | | | | | 放課後児童クラブ利用者数 | 351 | 432 | 448 | 527 | 470 | 共働き世帯や自営業世帯が多い本村では、特に観光産業の繁忙期を中心に需要が高まっており、今後も事業を継続実施する体制が必要です。あわせて他の放課後の子どもの居場所づくり施策についても、検討して参ります。 | | | |
| | | 障がい児支援 | | 健康福祉課 | 児童通所給付利用者数 | 90 | 178 | 309 | 413 | 100 | 小谷村の事業所において新規事業開始したことにより、利用者が増加しました。必要な人がサービスを確実に利用できることを重視します。 | | | |
| | | 障がい者支援 | | | 障害福祉サービス利用者数 | 40 | 46 | 41 | 44 | 55 | 必要な人がサービスを確実に利用できることを重視します。全利用者の計画相談を基に必要なサービスを実施します。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 4.0 | ・障害者が必要とする支援を確実に届けられるよう努力を続けていただきたい。 おおむね成果が得られている、更なる支援に期待する。 ・各サービスの充実感はあると考える。障がい者や家族だけでなく、周りの人も、障がい者やサービスを知ることが良いと考えるので、多方面への発信が増えるように考える。 |
| | | | 地域における自立生活の支援 | 健康福祉課 | 共同生活援護支給決定者数 | 7 | 15 | 12 | 15 | 17 | 必要な人がサービスを確実に利用できることを重視します。希望者の要望現状に合わせ支援します。 | | | |
| | | | | | 地域移行支援利用者数 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 必要な人がサービスを確実に利用できることを重視します。病院、施設等と連携し希望者の現状把握に努めていきます。 | | | |

| 基本目標 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 主管課 | 指標 | H26 2014 基準 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 目標 | R2内部評価コメント | 外部評価基準 | (参考) R1 外部評価 | (参考) R1外部評価コメント | |
|---------------|------------|-----------|----------------|---------------|------------------|-------------------|-------------|----------------|---|--|---|--------|--------------------|----------------------------------|---|
| | | | | | 日常生活支援用具給付件数 | 160 | 178 | 142 | 194 | 180 | 必要な人がサービスを確実に利用できることを重視します。希望者の要望現状に合わせ支援します。 | | | ・病児保育も必要であると思う。 ・更なる努力を期待したい。 | |
| | | | | | 日中一時支援事業利用件数 | 209 | 472 | 483 | 221 | 300 | 必要とする人は利用できています。希望者の要望現状に合わせ支援します。 | | | | |
| | | | 社会参加の促進と就労支援 | 健康福祉課 | 法定雇用率達成企業数 | 0 | 1 | 1 | 労働局照会予定 | 1 | 障がい者の就労に関する理解促進に努めていきます。 | | | | |
| | | | | | 障害者優先調達推進法調達額 | 360,960 | 351,760 | 356,680 | 438,480 | 400,000 | 取扱品目の拡大を働きかけます。 | | | | |
| | | | 権利擁護の体制づくり | 健康福祉課 | 成年後見制度利用支援事業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 成年後見制度の利用はありますが、本事業の該当者はありません。 | | | | |
| | | | 人にやさしいまちづくりの推進 | 健康福祉課・建設課・総務課 | 居宅生活動作補助用具支給件数 | 1 | 1 | 0 | 0 | 3 | 令和元年度は申請がありませんでした。 | | | | |
| | | | | | 地域福祉総合助成事業住宅改修件数 | 2 | 1 | 0 | 1 | 3 | 高齢者が安心して家庭で暮らせるよう住宅改修に係る費用を補助しました。 | | | | |
| | | | | | 通訳者派遣利用回数 | 10 | 17 | 19 | 12 | 17 | 必要とする者は利用できています。希望者の要望現状に合わせ支援します。 | | | | |
| | | | 高齢者福祉 | 地域包括ケアシステムの構築 | 健康福祉課 | 介護予防取組みグループ数 | 19 | 22 | 22 | 23 | 24 | | | | 新規に介護予防活動を行う団体が1団体増加しました。 |
| | | | | | | 介護予防事業参加者数 | 5,839 | 6,836 | 5,976 | 5,321 | 7,000 | | | | 新型コロナウイルス感染症の影響で、開催を見合わせたため参加者数が減少しました。 |
| | | | | | | 地域ケア会議開催回数 | 6 | 6 | 6 | 5 | 6 | | | | 介護、福祉に関わる多職種の参加により、地域の課題等の検討を行いました。新型コロナウイルス感染症の影響で、1回中止となりました。 |
| | | | | 生活支援サービスの体制整備 | 健康福祉課 | 配食サービス食数 | 1,693 | 2,513 | 2,954 | 2,877 | 2,000 | | | | 地域包括支援センター及びケアマネジャー等がサービス利用の必要性を判断し、速やかに利用に結びつけています。 |
| | | | | | | 乗合タクシー利用者数 | 7,729 | 6,898 | 7,380 | 8,676 | 8,100 | | | | 乗客数は前年度比18%増加しました。しかし土日祝日及び17時便の実証運行の利用者は多くありませんでした。 |
| | | | | 高齢者の生きがいづくり | 健康福祉課 | 白馬シニアクラブ会員数 | 964 | 1,152 | 1,236 | 1,251 | 1,000 | | | | シニアクラブの会員数は、年々増加しており、活動も介護施設でのボランティアなど活発に行っています。 |
| | | | | | | シルバー人材センター登録者数 | 639 | 609 | 613 | 623 | 700 | | | | 入会説明会を定期的に開催して登録者の増加を図っています。数値は大北全体の登録者数です。 |
| 認知症対策・権利擁護の推進 | 健康福祉課 | 認知症サポーター数 | | 638 | 730 | 910 | 1,023 | 1,000 | 小学4年生を対象に認知症サポーター養成講座を開催し、目標値をクリアしました。中学生は、来年度から3年生を対象として実施します。 | | | | | | |
| 健康づくりと地域医療の充実 | 生活習慣病予防の推進 | 健康福祉課・住民課 | | 特定健診受診率 | 47.1% | 55.7 | 55.6 | 50.8% (速報値) | 60.0% | 平成30年度の確定数は55.6%。年々ほぼ変わらず推移していますが、目標60%を目指します。 | | | | | |
| | | | | 特定保健指導指導率 | 73.3% | 67.7% | 68.6% | 未確定 | 75.0% | 平成30年度の速報値は68.6%です。令和元年度は未確定です。目標達成を目指します。 | | | | | |

白馬村第5次総合計画 - 前期計画評価シート

【検証資料1】

| 基本目標 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 主管課 | 指標 | H26 2014 基準 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 目標 | R2内部評価コメント | 外部評価基準 | (参考) R1 外部評価 | (参考) R1外部評価コメント |
|------|-----|-----|-------|------------------|----------------|-------------------|-------------|-------------|-------------|------------------|---|--------|--------------------|-----------------|
| | | | 食育の推進 | 健康福祉課 教育課・農政課 | 食育ボランティア登録者数 | 22 | 29 | 28 | 28 | 30 | ボランティアの高齢化により、退会する方もでてきています。新規会員の登録に努めます。 【農政課】毎年新規就農者が増っており、今後も継続した取り組みをしていきます。 | | | |
| | | | | | 平日夜間救急医療事業実施日数 | 289 | 290 | 288 | R2.7月 確定 | 維持 | 開設から13年が過ぎ、大北地域における平日・同曜日夜間の初期救急の医療体制が確保されました。 | | | |

| 基本目標 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 主管課 | 指標 | H26 2014 基準 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 目標 | R2内部評価コメント | 外部評価基準 | (参考) R1 外部評価 | (参考) R1外部評価コメント |
|---------------------|-----------|---------------------------|-----------|-------------------|---------------|-------------------|--------------|-------------|-------------|--|--|--------|---|-----------------|
| | | | 地域医療体制の確保 | 健康福祉課 | 平日夜間救急医療事業患者数 | 522 | 495 | 402 | R2.7月 確定 | 維持 | 開設から13年が過ぎ、大北地域における平日・同曜日夜間の初期救急の医療体制が確保されました。 | | | |
| | | | | | 在宅当番医制度事業実施日数 | 285 | 214 | 217 | R2.7月 確定 | 維持 | 北部・中部・北部の3ブロックに在宅当番医を置き、救急緊急の医療応需体制の確保と充実を図り、医療業務を実施しました。 | | | |
| | | | | | 在宅当番医制事業内科数 | 3 | 3 | 3 | R2.7月 確定 | 3 | | | | |
| | | | | | 在宅当番医制事業外科数 | 1 | 1 | 1 | R2.7月 確定 | 1 | | | | |
| | | | | | 在宅歯科当番医事業実施日数 | 75 | 71 | 72 | R2.7月 確定 | 維持 | 平成18年度より在宅当番医を置き、緊急の医療体制の確保と充実を図り医療業務を実施しました。 | | | |
| | | | | | スキー傷害診療実施日数 | 42 | 41 | 42 | 42 | 維持 | 冬期間の土日・年末年始・祝祭日の午後実施。北部地域のスキー傷害緊急救急体制を確保できている。外国人患者も増加しています。看護師等スタッフの確保が課題となっています。 | | | |
| | | | | | スキー傷害診療患者数 | 1,274 | 1,298 | 1,353 | 1184 | 維持 | | | | |
| 自立的・効率的で健全な行財政の村づくり | 情報通信技術の活用 | 個人番号カードの普及及び活用による住民サービス向上 | 住民課 | 個人番号カード交付率 | - | 8.50% | 9.95% | 11.78% | 20% | 今年度末(令和3年3月)から個人番号カードに健康保険証機能が追加されます。上記の広報を行ない個人番号カードの普及の促進に努めてきました。今年度も更なる普及に努めていきます。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.2 | ・個人番号カード交付率はなかなか伸びていないと感じる。なんらかのメリットをアピールする必要がある。 | |
| | | 広域ネットワークの構築 | 総務課 | | - | (2回) | (2回) | (1回) | - | 広域情報部会において今後のあり方について研究しています。 | | | | |
| | | 情報通信環境の整備・活用 | 総務課 | | - | (SC実施) | (SC実施) | (SC実施) | - | 進化する情報機器や外部からの脅威に対し、国県の指導に基づきセキュリティ対策等随時実施しています。 | | | | |
| | 行財政改革の推進 | 魅力ある人材の確保と計画的・効果的な職員研修 | 総務課 | 市町村職員研修センター研修受講者数 | 32 | 26 | 52 | 36 (128) | 60 | 研修センター受講者数は減少しましたが、2回実施した独自研修は128名が参加しました。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.4 | ・研修受講者数が大幅に増えているのは人材育成の観点で大いに有意義なことである。 ・研修への参加率向上は、積極的に行う行政改革に期待する。 | |
| | | | | | 大北圏域相互乗入研修回数 | - | 17 | 14 | 5 | 15 | 大北全体での回数は減少しましたが、白馬村実施のSDGs研修には85名(村69名、他市町村16名)が参加しました。 | | | |
| | | 財政計画の策定と財政状況の分析 | 総務課 | | - | (統一的基準の財務四表) | (統一的基準の財務四表) | - | - | - | 計画は「白馬村実施計画」に今後の「財政状況試算表」として掲載し、分析は「財務書類」の分析指標等で公表しています。 | | | |
| | | | | 総務課・税務課 | 実質公債費比率 | 11.8% | 9.40% | 9.90% | - | 12.0% 未済 | 6月以降作成、公表予定 | | | |
| | | | | | 将来負担比率 | 22.9% | 36.20% | 65.40% | - | 30.0% 未済 | 6月以降作成、公表予定 | | | |

| 基本目標 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 主管課 | 指標 | H26 2014 基準 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 目標 | R2内部評価コメント | 外部評価基準 | (参考) R1 外部評価 | (参考) R1外部評価コメント |
|------|-----|-----|-------|-----|----|-------------------|-------------|-------------|------------|------------------|---|--------|--------------------|-----------------|
| | | | 財政健全化 | 税務課 | - | - | 97.8 | 98.2 | 未決 | - | 滞納整理の強化・推進により着実に未収金が減少しています。今後も初期滞納者への早期財産調査・滞納処分の強化を図るとともに、滞納繰越分については入念な各種調査を実施し、滞納処分もしくは執行停止に繋げていきます。 新型コロナウイルスの影響による徴収猶予の特例制度については、納税者に寄り添った相談対応と措置を講じます。 | | | |

| 基本目標 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 主管課 | 指標 | H26 2014 基準 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 目標 | R2内部評価コメント | 外部評価基準 | (参考) R1 外部評価 | (参考) R1外部評価コメント |
|-----------------|--------------------|-----------------------|------------------------|---------------|---|-------------------|--------------|---|---------------|------------------|--|--|--------------------|---|
| | | | 公有財産管理 | 総務課 | | - | (個別計 画策定) | (個別計 画策定) | - | - | 令和元年度は個別施設計画と再編整備計画を策定しました。今後は状況に合わせて随時見直しをしていく予定です。 | | | |
| 産業_新しい仕事をつくりだす村 | 「世界水準」を意識した観光の村づくり | 競争力と持続可能性を高める観光地経営 | 白馬連峰への眺望の魅力最大化 | 観光課・建設課・総務課 | 観光入込数(通年) 目標値(H31)250万人 観光入込数(4~11月) 目標値(H31)120万人 外国人観光客延宿泊数 (H31)100,000泊 | - | (FWT) | (FWT) | (FWT) | - | 大会会場におけるリアルタイム中継など、趣向を凝らした大会運営により眺望の魅力化を十分にアピールできました。一方で来期以降の継続実施が課題です。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.3 | ・ウインター・グリーンシーズン共に観光客の減少傾向に歯止めがきかない状態が続いている。打開策の決め手に欠けているように思う。 ・今年は例年になく夏季はお客様が増加したと感じる。行政と村民の連携の強化に期待する。 ・公共交通を利用して観光に来られる外国人にとっても、また通年観光客を取り込むためにも、車を持たない年代人にも動きやすい公共交通が必要だと考える。村だけでなく近隣市町村も含め、JRや高速バスなどの連絡の良さなど全体的につながりが欲しいと考える。 ・村内にどのような経済効果があったのか。 ・グランピングは既存の産業(宿泊業等)への影響はないか。 |
| | | | 核となるスキー場と宿泊拠点の再生 | 観光課 | ウインターシーズン(12-3月)観光客数(万人) | 100 | 98 | 95 | 85 | 130 | 暖冬・雪不足の影響と2月以降の新型コロナウイルス感染症の影響を受け、大幅減少となりました。 | | | |
| | | | 国際リゾートに相応しい受入環境整備 | 観光課・総務課 | HAKUBA VALLEY Wi-Fi 整備箇所 | 0 | 7 | 7 | 7 | 8→7 | 整備予定箇所の設置は完了しました。 | | | |
| | | | 魅力の多様化に向けたコンテンツ創出 | 観光課 | グリーンシーズン(4-11月)観光客数(万人) | 113 | 107 | 108 | 122 | 120 | 2018年開業の白馬岩岳マウンテンハーバーが新たな観光スポットとして人気を博しました。また、地方創生推進交付金事業を活用した、ランドステーションHAKUBAが新設され、アウトドアアクティビティを核としたグリーン期の観光資源が整備されました。今後のプロモーション事業の拡充によりグリーン期の魅力向上と観光業の稼働率の平準化に期待が高まっています。 | | | |
| | | | 観光業の活性化・平準化による安定的な雇用創出 | 観光課 | | - | 未来投資事業開始 | 地方創生推進交付金事業継続 | 地方創生推進交付金事業継続 | - | 地方創生推進交付金事業の継続実施とその支援により、基幹産業の活性化と経済循環を図ります。 | | | |
| | | | 地域特性を活かしたスポーツツーリズムの推進 | 生涯学習スポーツ課・観光課 | スポーツ観光客数(万人) | 101.5→104.0 | 101.1 | 97.9 | 102 | 113.6 | インバウンド効果によりスキー場利用者数が増加しました(前年比104.2%) | | | |
| | | 白馬ジャンプ競技場リフト乗車人数 | 74,061 | 56,948 | 54,673 | 55,660 | 83,000 | GWが大型連休となったことによる増加と、昨年度に比べ、リフト改修による連休日が減り増加しました。冬期は映画撮影による連休により、若干減少しました。目標達成に向け、改善点を見つけ、利用者を増やす方針を定めます。 | | | | | | |
| | | スノーハープクロスカントリー大会出場者数 | 2,121 | 2,370 | 2,239 | 2,288 | 2,300 | 前年度の参加者数は上回ったものの、目標まではあと一歩届きませんでした。参引き続き加者の満足度を高める大会運営を目指します。 | | | | | | |
| | | FISサマーグランプリジャンプ大会来場者数 | 6,580 | 13,390 | 4,300 | 3,500 | 7,300 | 国際大会の開催については、長野県・長野県スキー連盟・白馬村スキークラブで開催に向けて誘致に取り組んでおりましたが、今後は、東京2020オリンピックの開催や予算確保など厳しくなるため、次世代の選手育成の創出のための大会を実施します。 | | | | | | |
| | | スノーハープマウンテンバイク大会参加者数 | 280 | 733 | 240 | 233 | 310 | 地元定着型の大会として今後も関係諸団体と協力し将来のオリンピック選手の創出を目指し開催をしていきます。 | | | | | | |

| 基本目標 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 主管課 | 指標 | H26 2014 基準 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 目標 | R2内部評価コメント | 外部評価基準 | (参考) R1 外部評価 | (参考) R1外部評価コメント |
|-------------------|---------|---------|-----------|---------------------------|--------|-------------------|-------------|-------------|------------|---|---|--------|--|-----------------|
| | | | 観光施設の維持管理 | 観光課 | | - | (随時パトロール) | (随時パトロール) | (随時パトロール) | - | 老朽化した落倉自然園の木道等修繕工事を実施します。 | | | |
| | | | 広域観光の取り組み | 観光課 | | - | (随時打合) | DMO化 | 法人設立 | - | ・三市村DMO (HAKUBAVALLEY TOURISM) が設立され、長野県重点支援広域型DMOに指定されました ・令和2年度は統一デザインコードによる観光看板の整備に取り組みます ・あわせて県内外の広域観光推進組織との事業連携を図り、広域観光の推進に取り組みます。 | | | |
| 農地と森を守り地産を活かす村づくり | 優良農地の保全 | 里山環境の保全 | 農政課 | 耕作放棄地面積(ha) | 15.8 | 9.2 | 9.2 | 9.2 | 10.0 | 北城南部圃場整備が終了すれば、0.6ha程度解消が見込まれます。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.7 | ・耕作放棄地が減少したことは評価できる。 ・農産物被害額が大幅に減らすことができているのは大きな成果だと思う。 ・荒れた農地の改善と認定農業者への支援が必要である。 | |
| | | | | 多面的機能支払交付金取組面積(農地維持) (ha) | 404.64 | 404.41 | 404.41 | 391.59 | 410.00 | 新規地区の参入により面積が増加しました。今後も耕作放棄地の減少に務めるよう加入していない地区に呼びかけていきます。 | | | | |
| | | | 農政課 | 多面的機能支払交付金対象面積(長寿命化) (ha) | 315.09 | 366.46 | 366.46 | 391.59 | 400.00 | 新規地区の参入により面積が増加しました。今後も耕作放棄地の減少に務めるよう加入していない地区に呼びかけていきます。 | | | | |
| | | | 農政課 | 新規地区(北城) (ha) | - | 40.8 | 40.8 | 40.8 | 30 | 換地も終了し、1工区の工事発注が完了しております。降雪が少なかったため既に工事に着手しており、完成予定は令和5年度となります。 | | | | |

| 基本目標 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 主管課 | 指標 | H26 2014 基準 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 目標 | R2内部評価コメント | 外部評価基準 | (参考) R1 外部評価 | (参考) R1外部評価コメント |
|----------------------|-----------|------------------------|---------------------|-----------------------|----------------------|-------------------|-------------|-------------|------------|------------------|---|--|--------------------|--|
| | | | 認定農業者への支援 | 農政課 | 農業機械等購入補助件数 (累計) | - | 7 | 5 | 6 | 30 | 農業への投資は機械の購入や更新が大きなウエイトを占めます。国庫補助はハードルが年々高くポイント制のため大型農業者が優先となってしまいます。通常の認定農業者が農地を守っていくにはこの支援は継続的に必要です。 | | | |
| | | | | | 認定農業者への農地利用集積面積 (ha) | 359 | 399 | 468 | 470 | 400 | 個人農家高齢化等による農業離れも目立ち集積率はUPしています。 | | | |
| | | | | | 認定農業者数 | 24 | 27 | 29 | 30 | 28 | 新たに個人1名が認定農業者となりました。 | | | |
| | | | 就農体験の機会づくり | 農政課 | | - | (4回) | (4回) | (4回) | - | 令和元年度は形を変えて収穫体験2回、料理体験2回を実施し地産地消を体験いただきました。(参加者は6家族17名) | | | |
| | | | 有害鳥獣対策 | 農政課 | 農産物被害額 (万円) | 104.8 | 64.3 | 32.3 | 40.5 | 78 | 自家消費している農家など、把握できない被害は反映されていません。特にサルによる被害が増えてきており、引き続き取り組み継続していきます。 | | | |
| | | 農産物のブランド化と特産品の生産・販売の推進 | 米の品質向上・ブランド化 | 農政課 | 白馬産ブランド米生産農家数 | - | 7 | 9 | 9 | 10 | 白馬村独自の基準により作付を指導し、取り組みました。実際の取り組みは10名ですが、平成30年度は1名が休みました。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.6 | ・地産地消が進んでいくことが望まれる。 ・計画的な構造と道の駅の移転を要する。 ・観光客向けのみならず、村内で観光にかかわる方々への広がりとよいと考える。実際観光客が食べたり飲んだりした物を手に入れる施設の充実も大切だと考える。 ・引き続き頑張ってください。 |
| | | | 特産品の生産・販売強化 | 農政課 | 紫米消費量 (t) | 6 | 7 | 7 | 6 | 8 | 異常気象(猛暑及び雪不足)によるお客様の減少による影響が大きかったと思います。引き続き特産品である紫米の消費増に力を入れていきます。 | | | |
| | | | | | 特産品栽培面積 (ha) | 7 | 8 | 8.1 | 8.1 | 10 | 昨年同様の面積でありました。今後も新たな特産品の取り組みは継続していきます。 | | | |
| | | | 地産地消の推進 | 農政課 | 地場産品売上高 (万円) | 2,041 | 2,069 | 2,100 | 2,150 | 2,500 | 道の駅販売所でのみの売上であり、ハピア等も入れるとかなりの地場産品の売上げがあり地産地消に貢献しています。 | | | |
| | | | | | 地産地消認定者 | - | (アンケート) | (マッチング) | (マッチング) | 25 | 昨年同様取り組みしてきましたが、なかなか認定には至っていません。何か違う方法を考えていきたいです。 | | | |
| | | | 道の駅建設と地域経済循環システムの構築 | 農政課・観光課・総務課・建設課 | 新しい道の駅 | - | (採択) | (調査研究) | - | 1 | 【総務課】先導的官民連携調査事業結果に基づき、民間で開発中の施設を注視しつつ、PPP・PFIの可能性について調査・研究を進めます。 【観光課】農水省が認定する「SAVOR JAPAN」の認定地域として、地域食や食文化の振興に関する取り組みを支援します。 | | | |
| | | 森林の整備と活用 | 森林整備地域活動支援 | 農政課 | 森林整備面積 (公共造林事業) (ha) | 5.1 | 4.58 | 14.7 | 13.4 | 60→40 | 森林づくり県民税を活用した緩衝体整備(1.97ha)、山仕事創造舎による間伐等(9.43ha)、林業経営者協会による森林整備(2.0ha)を実施しました。今後も計画的に森林整備を継続していきます。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.1 | ・停滞していた森林整備が動きだしたので、目標に近づけるよう努力してほしい。 ・森林整備の推進に期待する。 ・引き続き頑張ってください。 |
| | | | 森林資源とふれあう機会の創出 | 農政課・観光課 | | - | (5回) | 6回 | 5回 | - | 【農政課】天北森林祭(1回)、木流観察会(3回雪不足による冬の観察会は中止)、森林の里親事業(1回)、合計5回開催しました。 | | | |
| 商工業の振興により雇用を生みだす村づくり | 商工振興・創業支援 | 商工振興 | 観光課 | 小規模事業者経営改善資金助成金額 (万円) | 108 | 140 | 125 | 124 | 162 | 162 | 地域を担う小規模事業者を引き続き支援します。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 | 3.4 | ・創業者数が増えていることは良い傾向である。 |

| 基本目標 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 主管課 | 指標 | H26 2014 基準 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 目標 | R2内部評価コメント | 外部評価基準 | (参考) R1 外部評価 | (参考) R1外部評価コメント | |
|-------------------|--------------|-----------------|-------------------------|-----------------------|-------------------|-------------------|-------------|-------------|------------|------------------|--|--|--------------------|--|--|
| り | | | 創業支援と空き店舗活用支援、後継者支援 | 観光課 | 空き店舗の斡旋と活用件数 | - | 0 | 0 | 1 | 5 | 新規創業と連携した空き店舗活用システムの構築を図ります。創業塾の成果が顕著に現れています。引き続き創業者支援に取り組みます。 ※実績値は年度集計 | 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | | ・サテライトオフィスが新しいしごとの創出（雇用）につながっているのか疑問を感じる。 ・更なる推進に期待する。 | |
| | | | | | 創業支援者数 | 3 | 9 | 4 | 8 | 10 | | | | | |
| | | | 新しいしごとの創出 | 総務課 | サテライトオフィス企業数 | - | 1 | 1 | 0 | 1 | 平成30年度末までノルウェービレッジをサテライトオフィスとして活用していましたが、ヤフー株式会社が撤退し、現在は本社企業1社（しくみ株式会社）となっています。施設の活用としてしくみ株式会社より2社に施設の貸し出しを行い空きスペースの活用も行っています。テレワークの利用者も増えているため、引き続き利用者の増加に向けた施策を進めます。 | | | | |
| 民間活力を活かす村づくり | 産官学金労言連携 | | 大学・企業等との連携 | 総務課・観光課・健康福祉課・農政課・教育課 | 連携協定に基づき進行中の事業 | - | 4 | 6 | 6 | 5 | 【総務課】ヤフー株式会社、SBDライブ株式会社、信州大学、東京農大と連携協定しています。平成30年度はスノーピーク、KDDIと新たに連携協定を締結しました。ヤフー株式会社とは、白馬高校生を対象として「メディアリテラシー」特別事業を行いました。但し、連携しているものの事業実施が進まない協定先あります。 【農政課】KDDIからの紹介で、鳥獣対策に役立つトレイルカメラの検証を行った結果猟友会の負担軽減に大きく貢献された事から令和2年度に向けて購入費等を予算化しました。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.4 | ・順調に事業が増えているようなので、さらに進めてほしい。 ・外部からの意見・刺激が少しずつ村づくりに生かされることを望む。 ・連携実態が解らない。 | |
| ひと一人ひとりが成長し活躍できる村 | 学びあい育てあう村づくり | 次代を担う子どもたちの学習支援 | 「自ら学び、自ら考える力」と「生きる力」の育成 | 教育課 | 中学校情報端末活用生徒数（延べ） | 0 | 378 | 587 | 789 | 900 | 情報端末整備は平成27年度から開始し、平成30年度には全生徒が1台の端末を持つようになっています。国の令和元年度補正予算により、中学校の大容量通信施設改修が予算化されており、令和2年度以降の端末更新と合わせて、双方向授業や動画授業など利用方法が広がりました。今後もICT支援員制度などを活用し、教員のICT活用技能向上に取り組みたいと思います。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 4.0 | ・情報端末の配備はすでに済んだので、その有効な活用方法を検討し、効果を高めていく努力が必要である。 ・更なる推進に期待する。 ・白馬高生のみならず、村内の学生にも広がり、村全体の子どもの成長、育成につながるよう願う。 | |
| | | | | | 小学校情報端末活用児童数（延べ） | 0 | 220 | 433 | 657 | 690 | 情報端末はクラス単位で1人1台が使用できるように整備してありますが、施設の老朽化などもあるため、現在は新たな整備をしていない状況になっています。今後はプログラミング学習等も見据えるなかで、両小学校と整備方法などを検討していきたいと思います。 | | | | |
| | | | 地域に開かれた学校づくり | 教育課 | 信州型コミュニティスクール設置校数 | 0 | 3 | 3 | 3 | 3 | 学習支援ボランティアなども含めて順調に運営されています。令和2年度からは学校運営協議会に移行すべく準備を進めました。 | | | | |
| | | | 安心・安全な学習環境づくり | 教育課 | | | - | - | - | - | - | 令和2年度から「義務教育のあり方検討委員会」を立ち上げるように準備を進めました。 | | | |
| | | | 地域を担う人材の育成 | 総務課（白馬高支援） | しろま学舎塾生数 | - | 55 | 47 | 63 | 60 | 入塾生の数も増加傾向にあり、大学進学を考える塾生は積極的に受験コースを受講しています。今後は、白馬高校生以外の小谷・白馬地区の入塾について考えなければならないと思います。 | | | | |

白馬村第5次総合計画 - 前期計画評価シート

【検証資料1】

| 基本目標 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 主管課 | 指標 | H26 2014 基準 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 目標 | R2内部評価コメント | 外部評価基準 | (参考) R1 外部評価 | (参考) R1外部評価コメント |
|------|-----|----------------------------|---------------------|---------------|----------|-------------------|-------------|-------------|------------|------------------|---|--|--------------------|--|
| | | 自己実現を目指す 生涯学習と青少年 育成 | 限りない向上心を 支える生涯学習 | 生涯学習 スポーツ課 | 平均講座受講者数 | 15 | 22.2 | 19.4 | 18.5 | 22→25 | 雪不足及び新型コロナウイルスの影響により冬季は中止の講座が相次ぎ減少しました。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない | 3.8 | ・新図書館建設に向けて、村民の関心を高める努力をしてほしい。 ・新しい図書館について更なる検討 |

| 基本目標 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 主管課 | 指標 | H26 2014 基準 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 目標 | R2内部評価コメント | 外部評価基準 | (参考) R1 外部評価 | (参考) R1外部評価コメント |
|--------------------|-----|--------------------|---------------------------------|-----------------------|------------------|-------------------|-------------|-------------|------------|------------------------|--|--|--------------------|---|
| | | | 図書館の充実 | 生涯学習 スポーツ課 | 図書館来場者数(延べ) | 12,800 | 13,811 | 15,274 | 15,048 | 25,000 0→ 16,000 | 来館者数は微減となりましたが、貸出冊数は前年比+5%でした。より多くの方が訪れる図書館となるよう努めます。 | 1 ほとんど進んでいない | | が必要。 ・文化イベント開催に多くの興味があるように思う。村外へ行かずとも体験できることは皆さんの日常を豊かにす |
| | | | 人権教育の推進 | 生涯学習 スポーツ課・ 住民課 | | - | 74→340 | 300 | 270 | 350 | 【生スポ課】青少年育成村民大会や公民館講座を通じて人権教育の推進を図っています。 【住民課】今後も村長部局と教育委員会が連携し、青少年健全育成活動に参画します。令和元年度の社会を明るくする運動白馬・小谷地区推進大会が小谷村で開催され、約140名が参加されました。 なお、令和2年度の前述した大会を白馬村で開催する計画でしたが、新型コロナウイルス感染症の関係から、次年度開催することに決定しました。 | | | |
| | | | 青少年健全育成事業の推進 | 生涯学習 スポーツ課 | | - | - | 150 | 130 | 150 | | | | |
| | | | 文化・芸術の振興 | 生涯学習 スポーツ課 | コンサート等入場者数(延べ) | 340 | 926 | 1217 | 1239 | 500→ 1,000 | 多種多様な分野に触れる機会が創出できるよう、ウイング21ホール友の会と共に公演を企画・運営しています。NAGANO国際音楽祭in白馬については共催として多くの芸術家を迎え入れています。 | | | |
| 生涯にわたりスポーツに親しむ村づくり | | スポーツによる健康づくりと活力の創造 | スポーツによる健康増進 | 生涯学習 スポーツ課 | 週1日以上スポーツをする人の割合 | 40% | - | - | - | 46% | ライフスタイルやニーズ、価値観が多様化しているため、指導者との連携により教室の参加者等の増加を行ったうえで調査を実施します。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.9 | ・競技スポーツ人口が全体として現象する一方で、健康のためにスポーツに取り組む人は増えているように思える。実態を把握して対応していくことが必要なのではと思う。 ・スポーツの村とするためには、グラウンド、体育館など、総合的な設備が必要である。 ・生涯スポーツというのだから長い目で利用者などの動きをみていきたいと思う。高齢化に向けても考え、介護予防へとスムーズにつながるのいいと考える。 |
| | | | 子どもが日常的に楽しくスポーツに取り組むことができる環境づくり | 生涯学習 スポーツ課 | 中学生のスポーツ実施率 | 73.0% | - | - | 89.0% | 83.0% | 男女の平均スポーツ実施率は目標を上回る事ができました。今後は運動をする子どもと運動をしない子どもの二極化の進展や、少子高齢化等による団体スポーツの編成のあり方、放課後にスポーツをする機会等の提供を行い更に実施率の向上を図ります。 | | | |
| | | | | | 小学生のスポーツ実施率 | 67.8% | - | - | 90.0% | 77.0% | 男女の平均スポーツ実施率は目標を上回る事ができまし。今後は運動をする子どもと運動をしない子どもの二極化の進展や、少子高齢化等による団体スポーツの編成のあり方、放課後にスポーツをする機会等の提供を行い更に実施率の向上を図ります。 | | | |
| | | | | | スポーツ功労賞等受賞者数 | 22 | 36 | 19 | 33 | 25 | ウインタースポーツ以外でも日本のトップに位置する選手が出始めています。引き続き受賞者の掘り起しを行います。 | | | |
| | | | | | スポーツ少年団登録者数 | 362 | 318 | 324 | 360 | 410 | 少子高齢化や取り組むスポーツの多様化が進み目標人数に達しませんでした。今後も登録者数増に向けた体験会等を実施し登録者数の増加につとめます。 | | | |

| 基本目標 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 主管課 | 指標 | H26 2014 基準 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 目標 | R2内部評価コメント | 外部評価基準 | (参考) R1 外部評価 | (参考) R1外部評価コメント |
|-------------------|----------------|-----------------|-------------------|---------------|---------------------|-------------------|-------------|-------------|--|--|---|---|--------------------|-----------------|
| | | | スポーツ競技者の 競技力向上 | 生涯学習 スポーツ課 | 体育協会加盟団体登録者数 | 1,142 | 1,098 | 971 | 1,025 | 1,280 | 少子高齢化や取り組むスポーツの多様化が進み目標人数に達しませんでした。今後も登録者数増に向けた体験会等を実施し登録者数の増加につとめます。 | | | |
| | | | | | 白馬村スキークラブ競技登録者数 | 62 | 64 | 39 | 50 | 70 | 村の文化でもあるスキー競技の発展に向け、スキークラブと連携し、競技者登録増加を目指します。なお、小中学生の競技者数は138人です。 | | | |
| | | | | | 総合型地域スポーツクラブ登録者数 | 209 | 311 | 214 | - | 230 | 総合型地域スポーツクラブは、登録型ではなく、体育協会の一部となったため削除。 | | | |
| | | | スポーツ施設の整備及び充実 | 生涯学習 スポーツ課 | 社会体育施設等利用者数（延べ） | 86,935 | 71,204 | 73,606 | 66,874 | 96,000 | 新型コロナウイルスの影響により3月の利用者が減少しました。予約システムの導入など、引き続き利用しやすい環境の構築に努めます。 | | | |
| | | | | | ウイング21利用者数（延べ） | 53,946 | 73,974 | 57,513 | 61,050 | 60,400 | 各種団体が開催するイベントや教室の開催数により利用者数の増減があります。今後も関係団体と連携を図り利用者数の増加に努めます。 | | | |
| | | | | | クロスカントリー競技場利用者数（延べ） | 12,121 | 12,203 | 12,513 | 11,602 | 13,500 | 夏季の台風による利用キャンセルや、冬季の雪不足により利用人数が減少しました。新たな利用者を増やすよう努めていきます。 | | | |
| 一人ひとりに活躍の場がある村づくり | 人のつながりによる活力の創出 | 多様な人々が交流する機会の創出 | 総務課 | - | (2回) | (2回) | (2回) | - | 東京においてふるさと納税高額納税者、ふるさと白馬応援隊とヤフー社員を対象とした懇親イベント実施しました。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.4 | ・若者の交流イベントを大北地域に集約したのは良いと思うが、元々目標は低すぎという印象を受ける。 | | |

| 基本目標 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 主管課 | 指標 | H26 2014 基準 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 目標 | R2内部評価コメント | 外部評価基準 | (参考) R1 外部評価 | (参考) R1外部評価コメント |
|------------------|---------------------|----------------------|--------------------|------------------------------|-------------|-------------------|-------------|---|-------------------|--|--|--|--|---|
| | | 若者交流・結婚支援 | 総務課 | 村内の若者交流イベント開催回数 | - | 2 | 0 | 0 | 0 | 1 | 大北地域で開催される若者交流イベントを協力して実施します。 | | | |
| | | | | 広域連携による若者交流イベント開催回数 | - | 2 | 2 | 1 | 1 | 山麓クリバ、山麓ハロウィンを開催しました。(96名参加) | | | | |
| | | 男女共同参画社会の推進 | 総務課 | 講演会開催回数等 | 1 | 0 | 12 | 12 | 2 | 誰でも参加できる、こども食堂への補助を実施しました。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.2 | ・講演会等も増え、女性職員等も参加できる等、積極的な動きも評価できる。 ・女性の活躍の場の推進に期待する。 ・女性も働きやすさとの思いから、就業時間子育てサービスなど多方面と | |
| | | | | 白馬村役場の女性職員の採用割合 | 0 | 16.7 | 25 | 25 | 30 | 一般事務職(保育士、保健師等除く)。職員の採用にあつては、男女の区別なく、試験及び面接等により判断しています。 | | | | |
| 自然_魅力ある自然を守る村 | かけがえない山岳自然環境を守る村づくり | 天恵の自然との共生 | 観光課・総務課・生涯学習スポーツ課 | 環境配慮型トイレへの改修 | 1 | 1 | (天狗山荘復旧) | (天狗山荘復旧) | 2 | 2 | 【観光課】山岳トイレは改修時に環境配慮型へ移行するよう検討します。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.2 | ・山でのトイレ問題は重要だと考える。今後とも環境配慮型の推進を行ってほしい。 ・山岳トイレの改修を早急にする |
| | | | | 自然エネルギーの活用 | 農政課・観光課・総務課 | 小水力発電量(万Kwh/年) | - | 115 | 120 | 127 | 140 | 【農政課】昨今の異常気象もあり、発電機に負荷をかけないよう安全運転としています。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.9 |
| | | クリーンエネルギー・自然エネルギーの活用 | ペレットストーブ購入補助件数(累計) | 5 | | 15 | 20 | 22 | 30 | 令和元年度は5台を予定していたが、県費補助金の縮小もあり新規台数2~3台の割当となりました。 | | | | |
| | | ペレット販売数量(袋) | 689 | 1,085 | | 1,432 | 1,259 | 1,200 | 暖冬により昨年より減となりました。 | | | | | |
| | | 低公害公用車両数 | 4 | 5 | 6 | 6 | 6 | 令和元年度は前年度と比較して変動ありません。 | | | | | | |
| 自然との生き方を受け継ぐ村づくり | 守るべきふるさとの歴史と文化の継承 | 先人が築いた有形・無形文化継承 | 生涯学習スポーツ課 | 歴史民俗資料館や復元古民家で文化財に係る活動を行った回数 | - | 8回 | 10回 | 8回 | 10回 | 古民家で文化財の整理を行っています。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.3 | ・村内でもスキーへの関心が低くなっていることはさびしい限りである。スキーの楽しさを伝える工夫が必要だと考える。 ・村の子どもたちが、雪国でのスキーは必至、スキー教室等の回数を増やすことを検討する必要があると考える。 | |
| | | | | 登山・スキーの歴史・文化の継承 | 生涯学習スポーツ課 | 週1~2回スキーをする小学生の割合 | 29.0% | - | - | - | 33.0% | スポーツニーズの多様化により、ウィンタースポーツ離れが深刻化しています。スキーの楽しさを伝える工夫や係る回数を増やすための検討をしたうえで調査を実施します。 | | |
| | | 週1~2回スキーをする中学生の割合 | 20.8% | | | - | - | - | 24.0% | スポーツニーズの多様化により、ウィンタースポーツ離れが深刻化しています。スキーの楽しさを伝える工夫や係る回数を増やすための検討をしたうえで調査を実施します。 | | | | |
| | | 週1~2回スキーをする成人の割合 | 8.7% | | | - | - | - | 10.0% | スポーツニーズの多様化により、ウィンタースポーツ離れが深刻化しています。スキーの楽しさを伝える工夫や係る回数を増やすための検討をしたうえで調査を実施します。 | | | | |
| | | 体協スキー教室参加者数 | 81 | 79 | 73 | 51 | 90 | 白馬村スキークラブに委託し、各スキー場で特色を出し実施しましたが、雪不足により限られたコースの及びクロスカントリーは中止し、参加者数が減少しました。この試みは、今後も進めていきます。 | | | | | | |

| 基本目標 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 主管課 | 指標 | H26 2014 基準 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 目標 | R2内部評価コメント | 外部評価基準 | (参考) R1 外部評価 | (参考) R1外部評価コメント |
|-------------------|-------------------|-------------------|-----|-------------|-------------|-------------------|-------------|-------------|------------|------------------|--|--|--------------------|--|
| 美しい景観を守り育む村づくり | 自然環境に調和したまちづくりの推進 | 世界水準の観光地に相応しい開発基準 | | 総務課 →建設課 | | - | 基準改定作業 | 新基準適用 | 新基準適用 | - | 新基準による環境審議会は3件ありましたが、開発と保全は経済状況の影響もあることから、永遠の課題である旨、認識をしました。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.5 | ・景観形成と大規模開発は相反する内容である。大規模開発は抑制し、より強い姿勢で景観計画を進めてもらいたい。 ・不法行為に対する行政の厳しい指導が必要である。特に外国人対応が必要である。 ・数年前より外国人が来村し、空き家を購入し内外部を大きくリフォームしているが、建築規制はあるのか？ |
| | | | | 総務課 →建設課 | | - | (3回) | 景観計画策定開始 | 景観計画策定開始 | 景観行政団体移行 | 景観計画策定継続しました。住民や白馬ファン意見公聴のためワークショップ(3回)とフィールドワーク実施し、報告を作成しましたが、立地適正化計画、建築形態規制図、白馬駅前無電柱化事業との整合が次年度以降の課題となりました。芝浦工大の建築選考の先生、学生に協力を戴きました。 | | | |
| | | | | 総務課 | | - | (26件) | (21件) | (14件) | - | 自己の財産は自己で管理するということを基本に地区と連携し、景観保持等に努めました。 | | | |
| | | | | 住民課 | | - | (週1回) | (週1回) | (週1回) | - | ・引き続き不法投棄監視員による巡回を行っています。(週1回) ・野外焼却の禁止については、特に外国人住民向けに英文チラシを作成し配布するとともに、村内の不動産事業者にも外国人が不動産を取得する際における周知協力を依頼しています。 | | | |
| きれいな水と空気に囲まれる村づくり | ごみ処理広域化への対応とごみ減量化 | ごみ収集・運搬体制の強化 | | 住民課 | 地区集積場箇所数 | 52 | 67 | 74 | 77 | 57 | リサイクル物みの集積場・小規模ステーションも含め全行政区に設置され2年度目となりました。 令和元年度では、小規模ステーションが同一行政区内に4か所新設された外、既存施設の更新が1件ありました。 各行政区の状況に合致する収集場の形態を地域と共に模索・追加設置も視野に進めていきます。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.8 | ・ゴミ問題に関しては全体に成果が出てきているが、さらに進めるために村民の意識向上をはかる施策を推進すべきである。 ごみの処理について村民に周知させる徹底が必要である。外国人の意識が低さへの対策も必要である。 ・住民の意識の問題もあり分別など大変だが、広報課活動など今後もよろしく願いたい。 |
| | | | | | 生ごみ処理機利用世帯数 | 150 | 207 | 216 | 233 | 300 | 統計上のごみの排出を抑制する上で、生ごみの自己処理が進むことは好ましいことから、今後も導入補助を継続します(行政が設置する生ごみ堆肥化施設は、統計上行政収集量に区分され排出抑制につながりません)。 | | | |

| 基本目標 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 主管課 | 指標 | H26 2014 基準 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 目標 | R2内部評価コメント | 外部評価基準 | (参考) R1 外部評価 | (参考) R1外部評価コメント |
|------|---------------|------------|-------------------------------------|--|--------------|-------------------|-------------|-------------|-------------------|---|--|--------|---|-----------------|
| | | | ごみの削減と分別の徹底 | 住民課 | 焼却ごみの量 (t/年) | 3,000 | 2,898 | 2,856 | 2,931 | 2,900 | 白馬村・小谷村・大町市から排出される焼却ごみの排出量の比率がごみ処理負担金の比率となります。 令和元年は平成30年と比較して3市村とも焼却ごみの量が増加した結果となりました。 今後も、「分ければ資源、混ぜればごみ」の観点でごみの分別を推進するため、ごみの出し方早見表（英語版も作成済み）の全戸配布、行政区別のごみ分別の講習会開催を継続していきます。 また排出抑制として、プラスチックごみの削減のため長野県が推進する信州プラスチックスマート運動の3C（チョイス（意識して選択）、チェンジ（すこしずつ転換）、コレクト（分別して回収））について、この3Cを意識した消費行動を消費者に、販売行動を事業者継続して周知していきたいと考えます。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響で衣類・布類について、主要国への輸出が停止しリサイクル待ちが多量となったため、令和2年6月から衣類・布類の回収が停止することから、焼却ごみの増加が懸念されます。 | | | |
| | | | 北ア広域連合との連携によるリサイクルセンターの活用とリサイクル率の向上 | 住民課 | リサイクル率 | 22% | 21% | 20.0% | (今後国が実施する統計調査で確定) | 30.0% | リサイクル率が平成28年度から1%づつ減少していますが、焼却ごみも同じく減少しています。リサイクル率向上のため、分別の徹底と4Rを意識した消費行動を消費者に、販売行動を事業者継続して周知していきたいと考えます。 なお、新型コロナウイルス感染症の影響で衣類・布類について、主要国への輸出が停止しリサイクル待ちが多量となったため、令和2年6月から衣類・布類の回収が停止することからリサイクル率の低下が懸念されます。 | | | |
| | きれいで安心・安全な水環境 | 上水道の安定供給 | 上下水道課 | 29年度に水道施設更新計画を策定する | - | 100% | 70% | 70% | - | 病院、避難所等の重要給水施設へ供給する管路の耐震化を優先した個別更新計画を策定いたします。 | 5 期待した成果 4 概ね期待した成果 3 半分程度の成果 2 現時点では成果がみられない 1 ほとんど進んでいない | 3.9 | ・浄化センターの長寿命化および、公営企業会計への移行とも着実に成果を得られているので評価したい。 ・白馬の水の良さなど、もっと産業化することとアピールすることが必要である。 | |
| | | 水質保全 | 上下水道課 | 水質保全の啓発、定期的な美化清掃、自然林の保全 | - | (随時) | 随時 | 随時 | - | 「知らせる」のみにとどまらず、住民参加で取り組めるよう努めます。 | | | | |
| | | 浄化センター長寿命化 | 上下水道課 | 機械・電気設備の更新 (事業費予定総額に対する決算額の累計率) (H26年度・実施計画の策定、H27) | 29% | 53% | 80% | 80% | 100% | ストックマネジメント実施のための施設情報の収集・整理（現状把握）を進めます。 | | | | |
| | | 公営企業会計導入 | 上下水道課 | H31.4～の地方公営企業法の適用に向け、3年計画で移行のための調査を実施（全体事業に対する各年度の事業内容率） H28：基本計画の策定 H29：固定資産調査+評価 H30：移行に向けたシステム検討、例規の改廃 | - | 35% | 100% | 100% | 地方公営企業会計に移行済 | 将来に渡り持続可能な経営基盤の確保のために、必要な情報を把握し、経営の効率化、改革を図り上下水道経営について審議会を始めとした適切な説明責任を果たします。 | | | | |

| 基本目標 | 大分類 | 中分類 | 小分類 | 主管課 | 指標 | H26 2014 基準 | H29 2017 | H30 2018 | R1 2019 | R2 2020 目標 | R2内部評価コメント | 外部評価基準 | (参考) R1 外部評価 | (参考) R1外部評価コメント |
|------|-----|-----|-------------------|-----|----|-------------------|-------------|-------------|------------|------------------|---|--------|--------------------|-----------------|
| | | | 効率的なし尿処理 方法の確立 | 住民課 | | - | (随時打合) | 継続 | 継続 | - | 引き続きし尿・浄化槽汚泥の公共下水道施設での受入れを検討します。受入予定地区の合意が大前提となることから、地元との協議を行っていきます。 なお、令和2年度において、新型コロナウイルス感染症の関係から、関係地区の総会等が中止されていることもあり、スピード感を持って取り組みたいものの、時間を要する可能性があります。 | | | |